

TAIYO HOLDINGS REPORT 2021 INTERIM

第76期 中間決算のご報告 2021年4月1日～2021年9月30日

株式についてのご案内	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部 https://www.taiyo-hd.co.jp (ただし、電子公告によること ができない事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済 新聞に公告いたします。)
公告掲載URL	

お知らせ	
株式に関する各種お手続きについて	
●特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（*） 	特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選び いただけません。	
●証券会社等の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を
進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示
<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4626

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

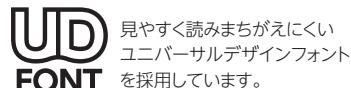
検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
[件名]「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。 

 本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.a2media.co.jp>

アンケートのお問い合わせ [\[e-株主リサーチ事務局\]
MAIL:info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)



経営理念と経営基本方針

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、
革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノを
グローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

経営基本方針

1

我がグループは利益を生み出し企業価値を高めることで、お客様・地域社会・株主及び従業員の幸福と繁栄に寄与します。

4

我がグループは常に従業員が挑戦し成長できる機会を生み出し、自ら目標を立て、その実現に向けて高い志を持つ集団を目指します。

2

我がグループは経営理念の達成にあたり法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。

5

我がグループは「スピード&コミュニケーション」をキーワードに、グループ内各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、企業総合力を高めます。

3

我がグループはグローバル体制を活用し、常に優れた製品とサービスの提供を行います。

6

我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第76期上半期においては、電子機器用部材事業は、リジッド基板用部材は、車載関連部材、民生用関連部材、スマートフォン関連部材、ディスプレイ関連部材等、多くの製品において好調に推移し、販売数量は前年同期を上回りました。半導体パッケージ基板用部材は、PC・タブレット端末の需要の高まりや5G関連設備投資の増加が継続した結果、半導体市場の成長が高水準で継続し、販売数量は前年同期を上回りました。

医療・医薬品事業は、新たに長期収載品2製品の製造販売権の移管が完了したことや、一部の製品において、供給停止となった他社の製品がある中で当社が安定供給を継続できたために売上が増加した一方で、医薬品受託製造は、新型コロナウイルス感染症の拡大抑制に伴う行動の変化により感染症関連等の一部製品で受託数量の減少が続き、低調に推移しました。

これらにより、売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

また、2021年6月には、長期経営構想「Beyond Imagination 2030」を発表いたしました。パンデミック、気候変動、テクノロジーの急速な進化等、私たちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しておりますが、予測不能な環境下においても、目指すゴールはかわらず、楽しい社会の実現に向け、企業活動を行ってまいります。



代表取締役社長
佐藤 英志

なお、第76期の中間配当金につきましては、発表どおり1株当たり65円10銭とすることを11月5日に開催した取締役会で決議しました。また、期末配当金につきましても、中間配当金と同水準を維持できるものと予想しております。株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月

ソルダーレジストの役割

スマートフォンなどのデジタル家電や、車載電子機器などのエレクトロニクス製品にはプリント配線板が用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジストは、このプリント配線板の回路表面を覆うことで外部環境から保護し、長期間の安定した使用を可能にします。

不要部分へのはんだの付着防止

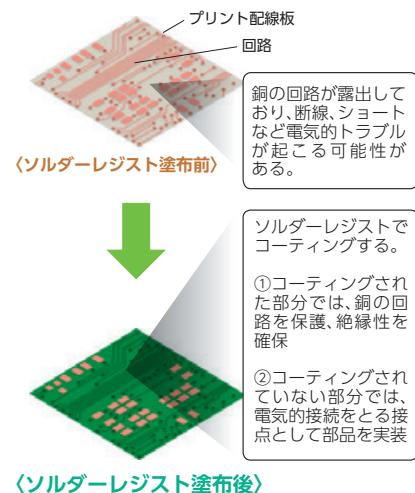
1 プリント配線板に各種の部品が実装される際に、電気的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートが起きるのを防止する役割があります。

ほこり、熱、湿気などから回路を保護

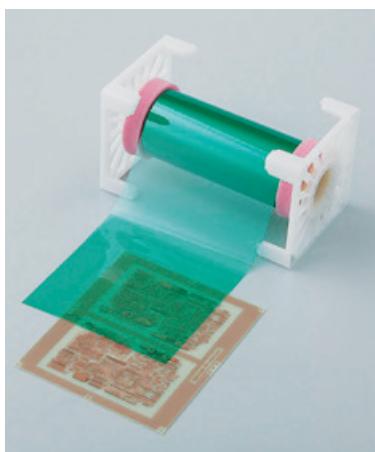
2 ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路を保護します。これによって電子機器は長期にわたり安定した動作が可能になります。

回路間の電気絶縁性の維持

3 電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路の幅は50~150 μ m程度、半導体パッケージ用基板ではさらに細線化しています。ソルダーレジストは回路間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。



ドライフィルム型ソルダーレジスト



半導体パッケージ用基板や、高い信頼性が求められる車載用の一部の電子機器用プリント配線板に使用されています。半導体の発する高温に長期間耐え、品質劣化が起りにくいことや反りが少ないなどの特徴があります。

また、ソルダーレジストの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

特徴

- ・表面平滑性に優れている(凸凹が少ない)
- ・含有溶剤が少ないため、顧客での使用環境に優しい
- ・回路間の気泡が少ないため品質が向上する
- ・使用時の工程が少ないため生産性が良い

主な用途



TAIYOのQ&A

Q1 太陽HDグループはどんなインキを扱っているのですか？

A1 一般的な印刷用のインキやペイント用のインキではありません。当社グループでは電子機器の心臓部の1つである **プリント配線板を保護するインキ** を扱っており、そのインキをソルダーレジストといいます。

One Point ソルダーレジストは緑色に限らず、様々な色があります。

Q2 ソルダーレジストはどのような電子機器に使用されていますか？

A2 ソルダーレジストで保護されたプリント配線板は、スマートフォンやスマートウォッチなどのデジタル家電や車載電子機器など世の中の **あらゆる電子機器** に使用されています。

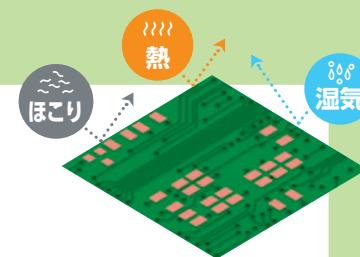
One Point 当社グループのソルダーレジストは **トップクラスの世界シェア** であり、**全世界で欠かせない製品** といえます。



Q3 ソルダーレジストはなぜ必要なのですか？ソルダーレジストを使用しないとどうなりますか？

A3 **ソルダーレジストを使用しないと**、ショートが起きるなど電子機器本体の **故障の原因** となります。ソルダーレジストは耐熱性や耐薬品性に優れており、プリント配線板をほこりや熱、湿気から保護しています。また、電気的なトラブルを防ぐ絶縁体としての役割を果たしています。

One Point 当社グループのソルダーレジストはあらゆる **電子機器が正常に安定して機能するために必要な製品** です。**電子機器の性能向上にはソルダーレジストの技術革新が必要** であり、トップメーカーである当社グループにとっての責務です。



「我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。」という経営基本方針を基に、総合化学企業へと飛躍するため、医療・医薬品事業における積極的な事業展開を行っております。

医療・医薬品事業のロードマップ



太陽ファルマテック株式会社が高槻工場内に細胞製品製造施設を竣工

本施設の稼働により、細胞製品の製造に関する包括的パートナーシップ契約を締結している株式会社サイフューズの細胞製品開発を製造面からサポートするとともに、細胞製品製造受託事業への参入を目指してまいります。

太陽ファルマテックは、本施設の稼働により、細胞製品の製造受託事業を行うことで、国内の再生・細胞医療における技術の発展及びより多くの患者様の健康へ貢献します。

また、太陽ファルマテックは遺伝子治療薬の製造施設も建設準備中であり、新たなモダリティへの対応を進めています。



細胞製品製造施設概要

延床面積 243㎡

竣工 2021年9月28日

長期収載品の製品ラインナップを拡充

太陽ファルマ株式会社では、2020年4月にアストラゼネカ PLCの子会社であるアストラゼネカ株式会社が日本において製造販売を行っている以下の長期収載品等4製品の製造販売承認及び製造販売権等を譲り受けることに合意し、資産譲受の実行を完了しました。また、2021年7月1日に、インデラル®及びテノーミン®の製造販売承認の承継を完了しました。

今後も製品の品質維持・安全性情報等の情報収集に努めるとともに、製品ラインナップを拡充し、情報提供活動やその他の事業活動の効率化を図ることにより、安定的で継続的な事業を目指してまいります。

製品名	薬効分類
1 インデラル®	高血圧・狭心症・不整脈・片頭痛治療剤・ベータ遮断性不整脈・狭心症治療剤
2 オメプラール®	プロトンポンプ・インヒビター
3 セロケン®	高血圧・狭心症・不整脈治療剤、徐放性高血圧治療剤
4 テノーミン®	心臓選択的β遮断剤

「長期収載品」とは

当社では特許期間もしくは再審査期間が終了しており、後発医薬品(ジェネリック)の販売が可能となっている先発品としています。

太陽ファルマテックが新厚生施設着工

～食堂、体育館などを備え、防災・避難施設としても活用予定～

太陽ファルマテックは、2021年9月に新厚生施設を着工しました。竣工は2022年8月を予定しており、社内施設としての利用に加え、災害時には帰宅困難者等の一時滞在施設として利用可能な機能を備えます。

太陽ファルマテックは、大規模災害発生時に、高槻市内にとどまる帰宅困難者に対し、本社の一部を一時滞在施設として提供し、迅速な災害対策に協力・貢献することを定めた「災害時における帰宅困難者の受け入れ等に関する協定書※」を、2021年2月に高槻市と締結しています。

これを踏まえ、太陽ファルマテックは、本社敷地内に、新たに厚生施設をオープンし、食堂・更衣室・体育館・トレーニング室・研修室・入浴施設などを備え、災害時には従業員や地域の皆様、帰宅困難者向けに、避難施設として新たに開放する予定です。

太陽ファルマテックは、社会の一員としての役割を果たすべく行政機関等と連携し、今後も地域の災害対策に積極的に貢献してまいります。



完成イメージ図

※太陽ファルマテック本社に帰宅困難者を最大100名、最長3日間受け入れます。

▶環境配慮

大きな庇屋根で日差しを低減するとともに、建物周辺の緑の蒸散効果で温度上昇を緩和します。

また、グループ会社の食糧事業のノウハウを生かし、施設内に野菜などの水耕栽培施設を備える予定です。



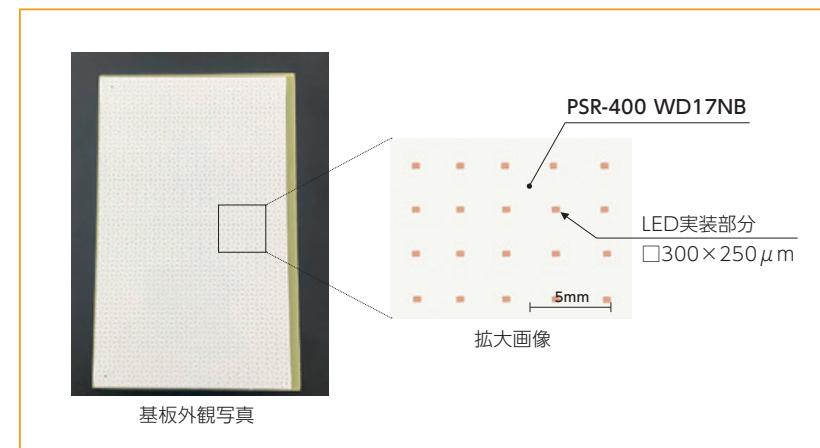
韓国タイヨウインキが現像型高反射白色ドライフィルムを量産

～タブレットPCのMini LEDバックライトユニットに採用～

韓国タイヨウインキは、2021年4月よりドライフィルムタイプの絶縁材料「現像型(露光・現像でパターン形成する方法)高反射白色ドライフィルム」の量産を開始しました。



基板外観写真



本製品は、硬化物が柔軟なため耐久性が高く、熱黄変せず高い透明性を保持し、高反射率であることに加え、DI露光機にも対応可能としたことで、タブレットPCのMini LEDバックライトユニットの反射板に採用されました。

当社グループ独自の感光性技術を応用し、Mini LEDバックライトユニットの反射板に使用することで、Mini LED実装の狭ピッチ化、パッドの小径開口化を可能とし、より高輝度、高コントラストな次世代ディスプレイを実現する絶縁材料として使用されています。

今後もあらゆる技術を高め、ディスプレイ技術の発展に貢献してまいります。

第76期 第2四半期累計期間の概況

当社は、当社グループが持つ「化学」というキーワードを軸に、総合化学企業へ躍進するため、グループ全体で各種施策に取り組んでおります。

電子機器用部材事業においては、リジッド基板用部材は、前年同期と比較し、車載関連部材、民生用関連部材、スマートフォン関連部材、ディスプレイ関連部材等、多くの製品において好調に推移しました。特にディスプレイ関連部材は、新製品である白色ドライフィルム型ソルダーレジストが当第1四半期よりMini LEDディスプレイへ採用され、販売数量の拡大に貢献しました。半導体パッケージ基板用部材は、PC・タブレット端末の需要の高まりや5G関連設備投資の増加が継続した結果、半導体市場の成長が高水準で継続し、販売数量は前年同期を上回りました。その結果、売上高は34,892百万円(前年同期比37.4%増)、セグメント利益は8,392百万円(前年同期比49.0%増)となりました。

医療・医薬品事業においては、長期収載品は前年同期の売上を上回りました。また薬価改定の影響があったものの、アストラゼネカPLCの子会社であるアストラゼネカ株式会社より譲り受けた長期収載品の2製品に関して製造販売権の移管が完了したことや、一部の製品において、供給停止となった他社の製

売上高



経常利益



品がある中で当社が安定供給を継続できたために売上が増加しました。医薬品受託製造事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大抑制に伴う行動の変化により感染症関連等の一部製品で受託数量の減少が続き、低調に推移しました。その結果、売上高は11,754百万円(前年同期比4.7%減)、セグメント利益は1,484百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

これらにより、売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

通期(第76期)の見通し

売上高、営業利益、及び経常利益において、2021年8月2日に開示した通期連結業績予想を上回る見込みとなりました。

科目	75期実績 (百万円)	76期の見通し*1 (百万円)
売上高	80,991	92,200
営業利益	13,943	15,900
経常利益	13,819	16,000
親会社株主に帰属する当期純利益	9,529	11,200

*1 第76期の見通しは、期中平均為替レートを1ドル当たり108円として算定しています。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



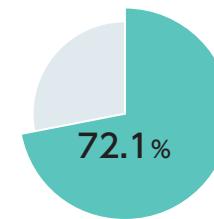
1株当たりの四半期(当期)純利益*2



*2 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して「1株当たりの四半期(当期)純利益」を算定しています。

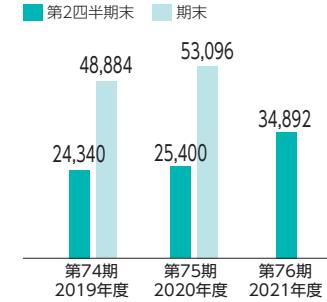
電子機器用部材事業

348億92百万円



リジッド基板用部材及び半導体パッケージ基板用部材は、多くの製品において好調に推移したことにより、販売数量は前年同期を上回りました。

売上高

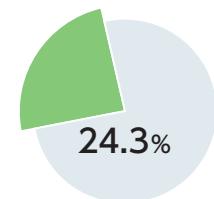


営業利益



医療・医薬品事業

117億54百万円



長期収載品は継続的な安定供給により売上が増加した一方、受託製造では一部製品で受託数量の減少が続き、低調に推移しました。

売上高

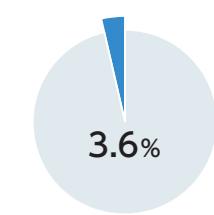


営業利益



その他

17億55百万円

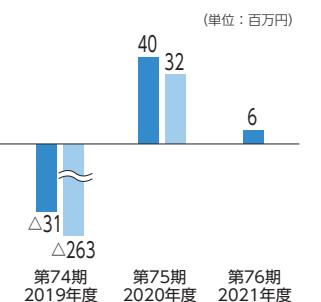


上記以外の製商品並びに以下の売上高の合算になります。太陽ファインケミカル株式会社 太陽グリーンエナジー株式会社 株式会社ファンリード

売上高



営業利益

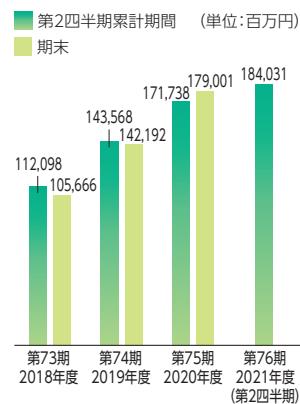


四半期連結決算概要

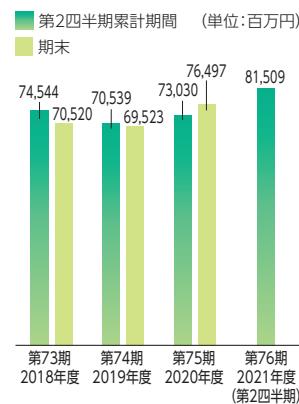
四半期連結貸借対照表(要旨)

科 目	当第二四半期 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	94,959	92,937
現金及び預金	51,712	54,705
受取手形及び売掛金	25,927	22,527
たな卸資産	15,376	13,449
その他	2,021	2,332
貸倒引当金	△78	△77
固定資産	89,071	86,063
1 有形固定資産	49,660	46,348
建物及び構築物	20,456	16,458
その他	29,203	29,889
無形固定資産	34,024	34,949
投資その他の資産	5,386	4,765
その他	5,545	4,937
貸倒引当金	△159	△171
資産合計	184,031	179,001

総資産



純資産



負債の部 (単位:百万円)

科 目	当第二四半期 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	40,856	38,107
支払手形及び買掛金	9,276	7,907
賞与引当金	1,109	907
その他	30,470	29,292
固定負債	61,665	64,397
2 長期借入金	56,016	59,333
退職給付に係る負債	152	150
その他	5,495	4,913
負債合計	102,521	102,504
純資産の部		
株主資本	78,541	74,184
資本金	9,612	9,499
資本剰余金	15,098	14,985
利益剰余金	57,085	53,065
自己株式	△3,255	△3,365
その他の包括利益累計額	2,592	1,954
その他有価証券評価差額金	386	203
為替換算調整勘定	2,206	1,751
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
非支配株主持分	375	357
純資産合計	81,509	76,497
負債・純資産合計	184,031	179,001

Point

1 有形固定資産

大阪物流センターの譲受等による増加

2 長期借入金

借入金の返済を行ったことによる減少

四半期連結損益計算書(要旨)

科 目	当第二四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前第二四半期累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	48,348	39,436
売上原価	27,080	22,338
売上総利益	21,268	17,097
販売費及び一般管理費	11,967	10,086
営業利益	9,301	7,011
営業外収益	477	158
営業外費用	273	186
経常利益	9,505	6,982
税金等調整前四半期純利益	9,505	6,982
法人税、住民税及び事業税	2,367	1,817
法人税等調整額	320	323
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,717	4,803

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当第二四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前第二四半期累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,528	8,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,677	△8,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,693	23,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	105	155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,737	23,878
現金及び現金同等物の期首残高	54,309	29,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,572	52,994

利益配分に関する基本方針

当社は現金による株主の皆様への利益還元を重要政策と位置付け、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施していきます。株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目処としています。この方針に基づき、第76期の中間配当金につきましては1株当たり65円10銭*とさせていただきます。

1株当たり配当金* (単位:円)



*当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しています。

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 太陽ホールディングス株式会社
 英文表記 TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 設立 1953年9月29日
 資本金 96億1,288万円
 事業の内容 持株会社、グループ全体の経営方針策定及び経営管理
 本店所在地 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
 従業員 157名※1

※1 上記従業員数の中には他社からの出向社員を含んでおり、関係会社への出向社員は含んでおりません。

役員

代表取締役社長	佐藤英志
取締役	竹原栄治
取締役	齋藤齊
取締役	玉木淑文
社外取締役	樋爪昌之
社外取締役	土屋恵子
社外取締役	青山朝子
社外取締役	鎌田由美子
社外監査役	堺昭人
社外監査役	杉浦秀徳
監査役	大木勝

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数※2 50,000,000株
 普通株式 50,000,000株
 発行済株式の総数※3 29,041,564株
 普通株式 29,041,564株
 単元株式数 100株

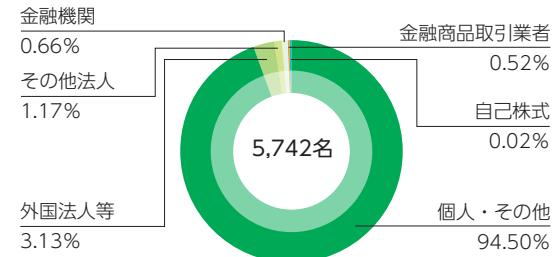
※2 2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、発行可能株式総数は50,000,000株増加し、100,000,000株となります。

※3 2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、発行済株式の総数は29,041,564株増加し、58,083,128株となります。

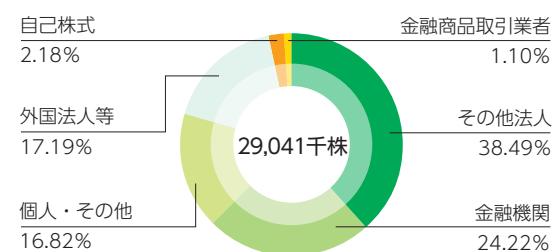
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
DIC株式会社	5,617	19.77
株式会社光和	3,636	12.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,292	8.07
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	1,705	6.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,486	5.23
株式会社SMBC信託銀行(株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	1,116	3.93
四国化成工業株式会社	745	2.62
東新油脂株式会社	538	1.90
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	496	1.75
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	467	1.65

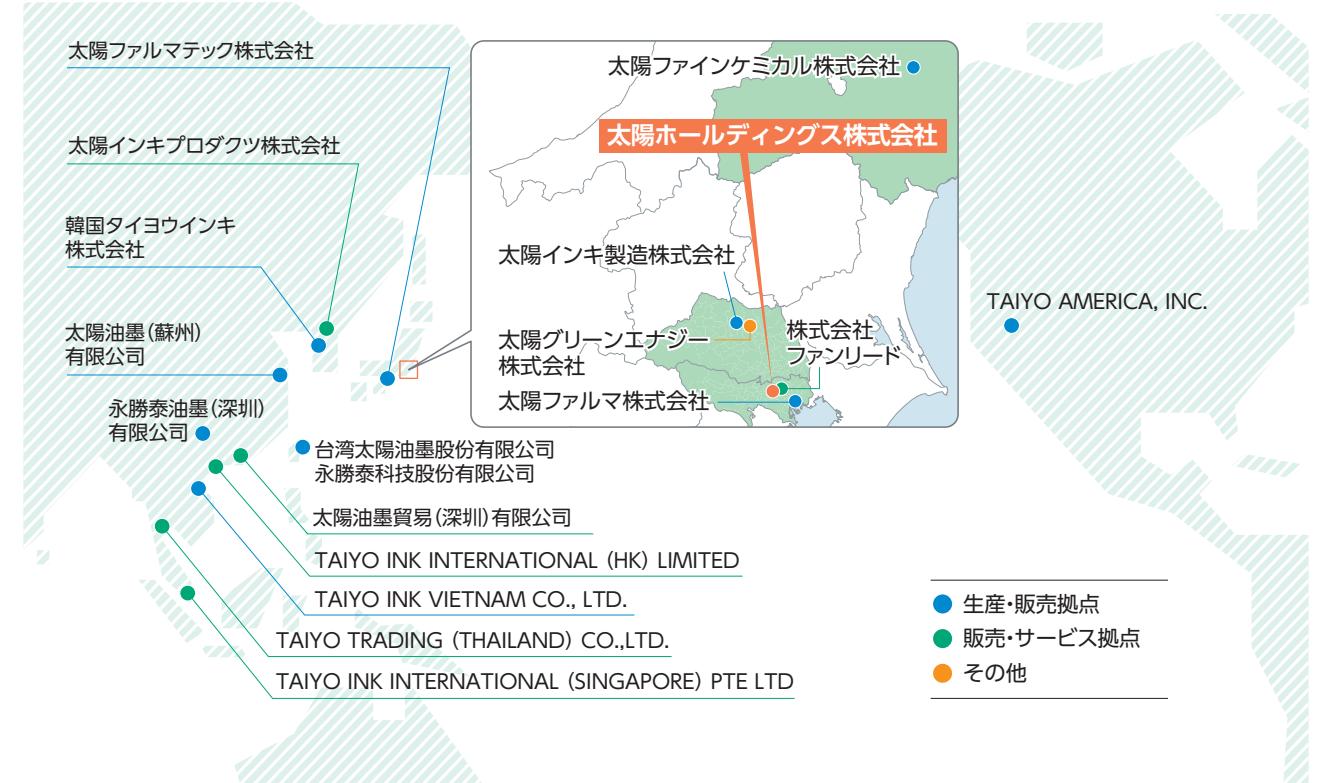
所有者別株主数の構成比



所有者別所有株式数の構成比



太陽ホールディングスグループ グローバルネットワーク (2021年9月30日現在)



ウェブサイトのご案内

<https://www.taiyo-hd.co.jp>

当社では、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。ぜひアクセスしてみてください。

